

平成31年度学校経営方針

平成31年4月1日

中野区立北中野中学校 校長 関 年隆

教育目標

自ら考え 正しく判断し 実践できる人

自他を大切にし 社会に貢献できる人

健やかで 人間性豊かな人

1 教育目標について

上記に掲げた教育目標は、小中連携校でもある武蔵台小学校、上鷲宮小学校の教育目標に含まれる「考える→自ら考え」「やりぬく→実践できる」という言葉を入れ、小中連携教育を推進する上で、義務教育の9年間で地域の子ども達に身に付けさせたいことを、まず第一文に入れた。第二文は「自他を大切」という語句で人権尊重の精神と命の大切さを、「社会に貢献」で自らの役割やボランティア活動に積極的に取り組む姿勢を育成することを掲げた。第三文の「健やか」という語句は心身共に健康でという意味を表し、「人間性豊かな」という語句はコミュニケーション能力に長け、人の痛みがわかる人間を育成していくことを掲げています。

教育目標は学校が生徒、保護者、地域社会に対して「本校ではこのような力を身に付けた子どもを育成する」ということを示すマニフェストです。併せてこの教育目標は上記の経緯から、上鷲宮地区の子ども達を義務教育の9年間でこのように育成するといった思いを込めた教育目標でもあります。

先生方もこの教育目標の主旨をご理解いただき、今年度の教育活動に活かしていただきたいと考えます。

2 学校経営の理念

- ・教育目標の具現化により「確かな学力」「豊かな人間性」「体力の向上」を期す。
- ・社会の形成者として次の時代を担う子どもたちに対し、自己実現を図るための資質を養う。

- ・保護者、地域社会の信託に応えた生徒を育成する。
- ・学校は組織体であり教職員一人ひとりが「チーム北中野中」の重要なメンバーである。組織の中で個々の責務を自覚し、責任ある教育活動を展開する。
- ・「ワーク・ライフ・バランス」実現に向け、教職員が健康で意欲を持って職務に取り組むことができるよう、仕事の効率化を図り、オンとオフを明確にする。

3 目指す学校像

- ・生徒一人ひとりを大切にする学校
- ・いじめがなく一人ひとりの生徒が、明るく楽しく安心して生活を送ることができる学校
- ・「たくましく生きる力」を培う学校
- ・自分の存在感を実感し、将来の夢を育む学校
- ・保護者、地域から信頼される学校

4 目指す教師像

- ・生徒一人ひとりを大切にし、生徒の健全育成に全力を注ぐ教師
- ・常に課題意識を持ち、目標を具体的に掲げて取り組む教師
- ・服務規律の厳正を期し、服務事故を未然防止し、研修に励む教師
- ・教育公務員としての自覚を持ち、組織の一員であることを自覚し、行動する教師
- ・教科指導のプロとして、教科研究、授業改善に励み、ICT 機器等を積極的に活用して授業力向上に励む教師

5 具体的な行動目標

(1) 一人ひとりの生徒を大切にする教育活動を展開する。

- ・一人ひとりを生かす教育活動の展開
- ・北中野中の歴史や伝統を大切にしながらも、改変を恐れず新しい取り組みの展開
- ・地域の教育力を生かした教育活動の展開
- ・生き方指導としての面談活動の充実
- ・健やかで、自己実現できる教育環境の工夫
- ・体験活動、ボランティア活動の重視
- ・特別な支援を必要とする生徒への手厚い対応、支援
- ・伝統である挨拶の励行
- ・防災教育、健康教育、食育の推進

- ・体力の向上
- ・全教員で部活動にあたり、部活動の活性化を推進

(2) 学習指導

- ・チャイムと共に授業を開始することによって、授業時間を確実に確保し、授業規律を徹底し、学習活動を充実させる。
- ・基礎的・基本的な知識・技能の習得を徹底し、確かな学力を育成する。
- ・学習指導要領を踏まえ、授業の工夫・改善に取り組む。
- ・毎時間の授業評価と併せて節目毎に評価を行い、指導と評価の一体化を図り、生徒の学習意欲の向上を期す。
- ・ICT 機器を使った研究指定を受け、研究、研修を実践し、地域の要請に応える学習指導を構築する。
- ・放課後、長期休業中に補充学習を積極的に行い、基礎学力の向上に努める。
- ・地域の関係団体と連携し、定期試験前の放課後学習教室を実施する。
- ・家庭学習の定着を図り、学習意欲の確立に努める。

(3) 生活指導・道徳教育

- ・規範意識の育成
- ・「あじみこ」を励行(あいさつ 時間を守る 身なりを整える 言葉遣い)する。
- ・スクールカウンセラーや関係諸機関と連携した、不登校生徒へのきめ細かい対応を期す。
- ・道徳教育を推進し、「特別の教科 道徳」の実施と併せて道徳授業の計画的で着実な取り組みを行う。
- ・人権教育を充実する。
- ・社会のルールやマナー指導を徹底する。

(4) 進路指導

- ・3年間を見通した進路指導を推進する。
- ・職業調べ、職場体験、専門学校体験授業、上級学校訪問等の体験学習を通じたキャリア教育を充実する。
- ・望ましい職業観・勤労観を育成する。
- ・自ら拓く進路を実現させる。

(5) 特別活動等

- ・学級活動、学年活動や委員会活動、学校行事を通じてリーダーを育成する。
- ・行事、部活動を通して達成感、連帯感、自己有用感を醸成する。
- ・学校行事に計画的、意図的に取り組む。

(6) 小中連携教育(保幼小中高連携を含む)

- ・小学校との緊密な連携を図り、義務教育9年間で育成すべき生徒像を具現化する。
- ・小学校との合同研修会を定期的に行い、9年間を通したカリキュラムの研究に取り組む。
- ・理数教科を中心に、乗り入れ授業を積極的に行い、相互理解を図る。
- ・リトルティーチャーや各種行事での児童・生徒の交流を通して、児童・生徒の健全育成を図る。
- ・多くの生徒の出身小学校である西中野小学校とも連携を図る。
- ・地域保育園への校庭の貸し出しを始め、家庭科の保育実習を通じてかみさぎ幼稚園、部活動の合同練習を通じて稔ヶ丘高校とも積極的な連携を図る。

(7) 家庭・地域との連携

- ・保護者・地域からの問い合わせについては、迅速で丁寧な対応を行う。
- ・授業公開や広報活動を通して、教育活動を積極的に公開する。
- ・学校行事や地域行事、ふれあい茶話会、地域清掃、敬老年賀状を通して地域との積極的な交流を図る。